

赤い實

大岩金

最も觀賞の價値ある温室の時期になりました。開花してゐるものの主なるものはプリムラの類を始めシクラメン、冬咲スキートビー、シチリア、マーガレットセラニューム、カーチーシオン、バンジー、フリージャなごみな夫々の美を發揮して居ります。

是にひきかへ露地作りのものは一年中で最も淋しい時であります。中に寒椿、寒菊、水仙などの霜雪を侵して笑を見せてゐるのは一段の風情であります。

又小鉢作りを致しましては雪割草、福壽草なご時節物にしてすて難い眺めであります。次に小栽培しました支那水仙はもそろく咲き出しました。花が開けば目にもよくなりますから一層氣をつけて水盤の水はよくきりかへてやり水盤もきれいに拭つておきませう。

かく露地の花は極めて少數でありますがいづかに變らぬのは常緑樹の縁を見せて呉れる事であります。その中に點々色ざる赤や橙色の實これこそはこの期におきましては花におさらぬ眺めであります。即ちみかん、きんかん、橙なごであります。しかし是等の栽培は一般に温暖な氣候を好み極一般的のものでありませんからここでは省略する事に致し以下に二つ三つ灌木性のものに就て記す事に致します。

一、南天

南天は是を前庭後庭に植えて觀賞し又切花にして年末年始の床飾りには他の花物を取り交ぜてしばし用ひられて居りますがその外その葉を四時贈物の中に入れるなごなかく用途の廣いものであります。是等大人の爲に

役立てられるのみならず幼児達にこりましても亦なかなか
 か使ひ途の多々ある事と思ひます。わけても冬の赤い實は
 はまた冬の雪に離す事の出来ない關係にあるもののやう
 に思はれます。即ち雪だるまの目兎の目の外色々こうし
 た遊びには誠に恰好なものかと思ひます。又その葉は長短
 それ／＼その用ひ方によつて兎の耳にも犬の耳にもまだ
 まだ私の考へ及びます以上に夫々巧に利用出來ます點が
 澤山あることと思ひます。

さてその南天の栽培法を簡単に申しませう。

繁殖法の普通なものは挿木に依るのであります。早春
 枝を數寸に切りまして是を直接光線の當らない且つ濕氣
 を相當によく保つやうな場所を選びまして深目に挿し込
 むのであります。かく致します時は入梅頃から次第に發育
 成長して參りますからよく活著しましたものはその翌年
 他へ植ゑ替へてやるのであります。又播種に依ります時は
 挿木の時と同じく早春赤い實の中の種子をこり出しまし
 て是を下種すればよいのでありますしかし挿木に依りまし
 したものよりも餘程實のなります迄に年月を要するので

あります。

栽植地を致しましてはあまり強光線の當らない半日蔭
 の地を好むのであります。即ち午前中丈位日光をうけるや
 うな場所で又あまり乾かない所がよいのであります。即ち
 家屋の軒近くなぎに栽植するには適當なものであります。
 肥料も草花に施肥する程にしば／＼行ふ必要なく寒肥を
 して冬期中に一度或は年數回も油粕の腐汁又は下肥を
 うすめたものをやればよいのであります。しかしあまりに
 等閑にして樹勢を衰へさせます時は實の著き方が悪るく
 なりますから實を主とするものにはわけてこの點には注
 意しなければなりません。

二、千兩

是も南天とほほ同様の栽培法に依るものであまり強い
 光線をうけない場所に植ゑつけるのであります。而して冬
 期は戸外におきましては稍々寒さに弱く新梢は枯れます
 から霜除をして保護してやらなければなりません。又鉢植
 なぎにありましては室内に取り入れてやるやうに致しま
 す。

繁殖法としては播種に依る事もありますが多くは株分に依つて居ります。即ち春發芽前に是を行ふのであります。しかして日蔭におき且つ強い風に當てないやうにしてやります時は五月頃から新芽を出し次第次第にのびて開花しやがて冬になりますれば綠葉はますますその色をこくしその枝の先端には小形の赤、中には黄白色の實を上向に群がらせます。

用途も南天にほゞ同様でありますが難を轉ずるごかの意で贈物にそへるなごの縁喜をもつて居りませんかはりに鉢植としての價値は更にこの方がすぐれて居ります。

次に千兩に似た萬兩はその實が前者の上向であるのに對し後者は下向になつて居ります。實の大きさもやや後者の方が大きいやうでありますが栽培の仕方は千兩の方が餘程容易のやうであります。此頃市場では千兩の方を多く見受けるやうでありますから省略する事に致します。

三、やぶこうじ

是もすつこ前ではありますが申した事があるやうに思ひますので只冬の赤い實を記しますに際し極簡単に申し

まして御利用に資したいと思ひます。

寒さに強く植ゑつけましてもあまり強光線の當らない所でさへありますれば極めて活著し易く且つよく實のつくものでありますから手に入り易いこの切少しでも植ゑておきたいと思ひます。しかしつき易い中にも土の凍結しない丈には保護してやらなければなりません。以後活著致しましたならば露地に植ゑ出しても鉢植にしても極めて丈夫で株もよく張ります。

